

第5回水戸市まち・ひと・しごと創生有識者会議録

1 会議の名称 第5回水戸市まち・ひと・しごと創生有識者会議

2 開催日時 平成28年2月9日(火)午前10時～午前11時

3 開催場所 本庁舎前議会臨時庁舎 2階 全員協議会室

4 出席した者の氏名

(1)水戸市まち・ひと・しごと創生有識者会議委員

相川達也，赤津一徳，伊藤充朗，大蔵勇人，大関茂，小田部卓，
加藤高蔵（代理），齊藤恵，佐川泰弘，清水博，清水昌幸，須田浩和，
高橋隆慎（代理），田山知賀子，出井滋信，任田正史，原毅（代理），三上靖彦，
向山路一（代理），村中均，八木岡努（代理），和田祐之介，渡辺政明

(2)執行機関

高橋靖，三宅正人，長谷川昌人，三宅陽子，大関利明，堀江博之，
飛田尚亨，板橋佳広

5 議題及び公開・非公開の別

(1)水戸市人口ビジョン及び水戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略について
(意見書提出) (公開)

6 非公開の理由 適用なし

7 傍聴人の数(公開した場合に限る。) 2人

8 会議資料の名称

9 発言の内容

【執行機関】おはようございます。

定刻になりましたので、ただいまから、第5回水戸市まち・ひと・しごと創生有識者会議を開催させていただきます。

本日は、御多用の折にもかかわらずお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

それでは、座長に議事の進行をお願いいたします。

___座長、よろしくをお願いいたします。

【座長】皆さん、おはようございます。

先週に続きまして連続の会議となります。朝早くからお集まりいただきましてどうもありがとうございます。

いよいよ本日、意見書等を市長に提出する日となっております。

では、議事に先立ちまして、本日の欠席者についてですが、___委員、___委員、___委員、___委員、___委員が所用のため欠席との連絡を受けておりますので、御報告申し上げます。

また、本日の会議録の署名人につきましては、___委員と___委員をお願いしたいと思います。よろしくをお願いいたします。

なお、本日、会議の傍聴を希望される方が2名お見えになっております。本会議は原則公開としておりますので、入室いただきます。

(傍聴人入室)

【座長】それでは、議事に入ります。

前回の会議におきまして、皆様から、特に戦略の実施、推進に関する御意見を頂きまして、取りまとめを座長に一任いただきました。

その結果、当会議の意見書として御手元に写しを配付させていただいていると思いますが、取りまとめを行いました。

これを、当会議といたしまして、高橋市長に提出するということにしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

【座長】ありがとうございました。

それでは、そのように決定をさせていただきます。

【執行機関】ありがとうございました。

それでは、意見書の提出に移らせていただきます。

___座長から市長へ意見書の提出をお願いいたします。

【座長】読み上げます。

平成 28 年 2 月 9 日

水戸市長 高橋 靖様

水戸市まち・ひと・しごと創生有識者会議
座 長 佐川 泰弘

水戸市人口ビジョン及び水戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略について(意見)

水戸市人口ビジョン及び水戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に当たりましては、当会議において、慎重に審議をいたしました。

人口ビジョンに基づき策定する総合戦略の実施・推進において、下記事項に十分配慮されるよう要望いたします。

記

- 1 他市町村との差別化が図れるよう、水戸市の個性を明確に打ち出し、魅力・特色あるまちづくりを推進するとともに、その魅力を積極的かつ効果的に発信すること。
- 2 他方で広域連携なしに地域全体の活性化は図れない。幅広い分野において、広域的な連携の強化も図りつつ、県都水戸としての都市力を高めながら、存在感を示していくこと。
- 3 総合戦略の推進を含め、市政全体をけん引し、進展させていく中心となるのは「ひと」であることから、水戸の未来をリードする人づくりに積極的に取り組むとともに、「ひと」を大切にし合える、多様性を認め合える環境づくりに努めること。
- 4 総合戦略を打ち出すに当たっては、市民に水戸市の目指す方向や本気度を十分浸透させることが極めて重要である。効果的な手法による周知を行うとともに、学校等とも連携しながら、次の若い世代である子どもから高齢者まで幅広い市民の参加・参画意欲の醸成に努めること。
- 5 目指す姿「若い世代が生き生きと暮らせる 持続的に成長するまち 水戸」の実現に向け、核となる若い世代へ効果的な周知を行うことはもとより、若い世代の意見を尊重しながら総合戦略の推進が図れるよう、参加・参画しやすい環境づくりに取り組むこと。特に、庁内でそれを率先すること。
- 6 まちの強みはさらに伸ばし、まちの弱みも強みに変えるような柔軟な発想を持ちながら、施策の優先順位を十分見極め、あらゆる分野において市民と行政とが協働して取り組むこと。
- 7 進行管理については、庁内における検証を実施することはもとより、市民意向を反映しながら、様々な視点からの評価、計画の見直しが行えるような仕組みづくりに努め、実効性のある P D C A サイクル(計画－実行－評価－見直し)により行うこと。年度ごとの計画とそれに即した進行状況を当会議及び市民に示すこと。

【座長】以上の7点でございます。

人口ビジョンと総合戦略と併せて、市長にお渡しいたします。

(意見書を高橋市長へ手渡し)

【高橋市長】しっかり承らせていただきます。

ありがとうございました。

【執行機関】ありがとうございました。

それでは、ここで、高橋市長から御挨拶申し上げます。

【高橋市長】皆さん、おはようございます。

有識者会議の方から、人口ビジョン並びに総合戦略について、様々な意見の取りまとめをいただいて、ただいま、座長から意見書の御提出をいただきました。

この有識者会議の委員の皆様には、5回という長期間にわたりまして、熱心な御議論、御審議をいただきながら、人口ビジョン、そして総合戦略を策定するに当たってのいろいろな留意点についての御意見、御提言を頂き、また、実践段階における進め方についても皆様に熱心に御議論いただいて、行政に対して御提言をいただいたこと、心からお礼と感謝を申し上げます。

今回の有識者会議につきましては、従来の産官学連携から、その枠を更に越えて、金労言の方々にお入りいただいて、様々な政策の発生源の多様化を図りながら皆様に御意見を頂いたところであります。

御存じのとおり、人口減少・超高齢社会の中にあって、私たちは自主・自立した独立性のある、あるいは特徴ある政策をもって、このまちの活性化、そして豊かな暮らしを導き出していかなければなりません。

そういった責任、役割というものをしっかり肝に銘じて、この総合戦略を実効性のあるものとして進めていきたいと思っております。

ただいま、座長から、7点にわたって御意見を頂いたところであります。特に、まち全体をけん引していく若い世代にターゲットを絞って、やりがいを持って働き、活動をして、そして、いろいろな分野で活躍できる環境をしっかりとつくっていくことが、改めてこの意見から重要性を認識いたしましたところでございます。

そのため、しごと、ひと、まちの好循環の確立に向けて、水戸市の地域性を生かした4つの基本目標と合わせまして、まちをリードする若い世代を引きつけ、呼び込む、魅力あるまちづくりに向けて、職員一丸となって努力をしていく覚悟でございます。

水戸のまち創生リーディングプログラムも設定をさせていただきました。水戸らしい総合戦略が策定できたものと自負していると同時に、皆様のこれまでのいろいろな御指導に改めて感謝を申し上げたいと思っております。

つくったからには、しっかり実行・実践をしていくことが大切なことであります。

今、国では、地方創生に関わる加速化交付金を始め、これからいろいろな交付金が明らかにされてくると思っております。

私たちもそういった動きにあわせて、総合戦略に盛り込んだ施策を具現化するために、国へいろいろ提案をさせていただいております。ただ、一方で、国の審査というか判断が、非常に厳しくなっているということも認識をしていかなければならないと思っております。

より具体的な戦略、例えば、観光であれば、どこにターゲットを絞るのか、そして、それを担うための人材をしっかりと調達できているのかどうか、そういうことまで問われるということでありまして、今までのように、インバウンドをやります、観光振興をやります、案内板を付けます、多言語化をしますというようなことをやったところで、そのようなものは全く特徴的な政策ではなく、どこも同じような政策の横並びであると認められない厳しさがあります。そこから脱却をして、例えば、水戸らしい観光振興であったり、あるいは子育て支援であったり、介護の充実であったり、そういったものをしっかり立ち上げて、それを戦略的により具体化・具現化させて、特徴あるものとして国へ提案をしていかなければならないと思っております。そういう厳しさを私たちも実感というか、認識をしているところでもございます。

また、いろいろと企画を練るチャンスがこれから国の方から交付金等というような形で示されていく中で、また皆様にもいろいろとアイデアや知恵を頂かなければならない部分が出てくると思っております。こちらも皆様に様々な情報提供をさせていただきたいと思っておりますので、それらに基づいて、また皆様に、水戸らしい、まさに地方創生をしっかり受け止めた政策立案というものも、引き続き、御提案、御提言を頂ければ有り難いと思っております。

特に、水戸市内の企業の方々とこれからいろいろと連携もさせていただければなど思っています。私の方に、いくつか、東京の企業からこういう提案があるというふうに来ているところもあります。実は、今日も朝一番で、ICT関係のクラウドを利用した介護であるとか、子育てであるとか、そういった分野についての打合せをさせていただいたのですが、まだちょっと成熟していない技術なので、これらについては少し見合わせることでしているものの、そういったものがどんどん水戸市外の企業から出てきて

いるということに、ある意味、危機感を持たなければならないなと思っています。地方創生ということで、例えば私たちが介護や子育てということ提案して、お金をもらった。そのお金をどういうふうにするかという時に、ビジネスパートナーとなる人たちが水戸市内の業者ではなくて東京の業者だった、そちらに委託をしたということであるならば、せっかく獲得したお金が結局は東京に流れてしまって、東京一極集中の是正に全然つながらないというようなことになってしまいます。そういった知識とか技術であるとかというものも、まさに民と官が連携をして、磨き上げて、新しい地方創生につながるような技術開発もしていかなければならないのかなと思っています。

私たちもしっかりアンテナを高くしていかなければならないと思っています。地方創生に限らず、いろいろな省庁での補助金があります。それを知らないが大変損をしているところがありまして、実はこういう補助金制度があって、こういうものを使えばよかったかなというようなところもなきにしもあらずでございました。地方創生に限らず、各省庁が創設をしている補助制度等もうまく活用をしながら、特徴ある施策をしっかり導き出していきたいと思っていますと同時に、地方創生のメニューも、随時、各省庁から提案がされます。こういうようなものでやったらどうか、ああいうものでやったらどうかということ各省庁と個別に確認をし合わなければならないような部分もあります。そういったアンテナをしっかりと高くして、各省庁の動きを迅速に捉え、そして、いち早く特徴ある提案をしていきたいと思っております。

しかしながら、私たち市役所の頭脳だけでは限界があります。そういった各省庁の動きについても、民間団体の皆様、あるいは企業の皆様に情報提供をさせていただいて、知恵を頂きながら政策立案をして、国に提案をして、補助金や交付金を頂くというような、まさにそこでの好循環をつくり上げていきたいと思っておりますので、有識者会議の皆様にも、この会議はこれで終わりということではなくて、これからも水戸市の地方創生を受け止めた政策立案に深く関わりをいただき、まさに民と官が連携をした、地方創生の波にしっかりと乗っていききたいと思っております。

そして、県庁所在地としての役割をしっかりと果たせるようなまちづくりにつなげていきたいと思っております。私たちの役割は、水戸市の活性化と水戸市民の幸せだけではなくて、県央・県北地域の活性化と人々の暮らしの豊かさにも私たちの責任があるということ認識しながら、広域的な認識を持ってこの地方創生を進めていきたいと考えておりますので、また皆様にいろいろな面で御指導、御鞭撻をいただきますように、よろしくお願いを申し上げながら、改めて、長期間、5回にわたって皆様に熱心な、

真摯な御議論をいただきましたことに心からお礼と感謝を申し上げて、私からのお礼の挨拶に代えさせていただきたいと思えます。

本当にお世話になりました。これからもどうぞよろしくお願ひします。

ありがとうございました。

【座長】 当会議におきましては、これから最終決定が庁内でされると思えますが、総合戦略につきまして、推進や進行管理をどうやっていくかということについて、引き続き、協議をしていくということでございます。

それでは、時間も限られてはいるのですが、実質4回審議をしてきて、いろいろお考えになっていることもあるかと思えますので、これまでの御感想とか今後の取組への要望等をぜひとも一言ずつ頂ければと思えます。

特に、市長も時間の限りもあるということで、1人1分ずつぐらいという感じかと思うのですが、順番にというのも何なので、まずという方がいらっしゃればと思うのですが、いかがでしょうか。

では、___委員どうぞ。

【___委員】 先日もお話ししたとおりですが、経済が縮小し、社会が縮小する中で、それに歯止めをつけていこうということで、まち・ひと・しごと創生が始まったわけでありましたが、その進行管理の中で、どうしても水戸というのは県庁所在地でありますし、県の中心で、北関東の有数の都市であるので、総花的になるのは当然のことだと思えます。

しかしながら、これまで役所というのは継続性というものにすごく重きを感じてきて、あまり需要がないものに対しても、総花的にずっと残しておくという形をとってきましたが、PDCAサイクルの中で、需要に対する思い切った対応をしていく。これまでは供給を市が与えれば、経済が拡張する限り、供給に需要が追いつくことでありましたが、収縮する中では、今度は供給をしても需要がないということが出てくる。これは先日も言いましたが、そういう意味では、需要に対して、私たちの必要なものに対して、今の段階では総花的ですけれども、PDCAサイクルの中で管理をして、そのところでどこに重点的な力を注いでいくのか。皆さんからも、重点的なものがないではないかというような意見も一時期ありましたが、それはこのサイクルの中で確立していくものと思えますので、その管理をぜひよろしくお願ひします。各課に対してもコントロールをしていくというようなことをよろしくお願ひしたいと思えます。

【座長】 という感じで、特に、ここで協議ではないので、どんどん出していただければと思えます。

では、___委員どうぞ。

【___委員】 私は、今みたいな御意見のように難しいところがなかなか言えないところなのですが、私は、今、40歳です。そうすると若くはないのですが、

若い人という世代に少し近いといったところで意見を聞いたりするところもありまして、今、市長からの御挨拶とも重複するところがありますが、日曜日等に街中に出てみますと、お店がやっていないとか、飲食店がやっていないというところで、人通りも少なく、非常に寂しさを感じているところでもあります。

今、市長から、若い人という話がありましたが、若い人たちがまちの中で休みの日に遊んでくれたり、学んでくれたりという風景が、もしかしたら今の水戸市の中で少し寂しいのかなと思っておりました。ショッピングへ行くといっても、隣のひたちなか市や内原の方に行ったりということもありますし、昔、私が子どもの頃は、休みの日に水戸へ買い物に行くとか遊びに行くぞと言われるとうれしかったということがあったのですが、今はそういうのも減っているのかなと思っておられますので、遊ぶところを増やしてくださいという話ではないのですが、若い人たちがもっと元気に活動できる場がまた増えていったらなと思っておられます。

いろいろ御挨拶をお聞きしている中で、今、県南の方は東京の通勤圏になり、あちらが活性化していきまして、非常に寂しいという思いをしております。私は茨城の中心は水戸市だなと思っておられますので、また今後、継続してお願いしたいと思っております。

【 委員】 の でございます。

今、冒頭、市長の御挨拶をお聞きしながら、この会議の冒頭のところでこういうお話があったことを思い出しました。

水戸市には県都としての振る舞いが求められている、県都としての計画であると、ここのところが冒頭でお話をされたのを思い出しました。先駆けの県都としてのチャレンジングな施策が必要だということで話が進んできたように思います。ただ、これからは、何を考えるという段階から、何が実現できるのかという話に進んでいくと思います。

今回の総合戦略の1つの眼目がK P I（Key Performance Indicators：重要業績評価指標）、すなわち鍵となる指標をきちんと決めて目標を達成しましょうということだったと思いますので、これからまさに鍵となる指標を、水戸市がではなくて、私たち全員でどういうふう達成するかという段階になっていると思います。そのために微力ながら力になればと思っております。

【 委員】 から選出をいただきました、 でございます。

私たちの場合には、 も含めて折々に様々な形で提案する、それから、様々な要望をするという機会もありますので、皆さんとは少し違う立場にいますと思いますが、皆さんと論議をしていく中で一番大事だったものは、他市町村との差別化、水戸市の個性を明確にしていくということでした。

これは都市づくりも含めて、ダイバーシティの話もありましたし、あらゆる属性を受け入れる都市にしていこうという都市の基準も明確になったと思っています。

ただ、地方創生の場合には、どこの都市も人口減少が進んでいるということで、地方創生に対する地方都市の競争というのが、今、現実化されておりまして、基本的には、一概に水戸市の特色、その魅力をこれだということで急な発信をすることは難しいとは思いますが、2月1日号の広報みとの中に、先ほどから言われているような、中心市街地における新規出店数が25店舗であったり、水戸市の新たな土産品の開発を10品目ということも含めて、これから着実に目標を決めながら、観光交流人口も400万人にしていきたいと思いますという明確な指標も出ていました。

そういう面では、都市づくりも含めて、今、現実にはできることを、市長が標榜されるようなまちづくりを着実に進めていくこと、その中であらゆる形を見据えながら、その中で水戸市の特色を見つけていくことが一番大事ではないかと思っています。

そういう面では、皆さんから頂いた意見を基本にして、私たちもチェック機能としてその役目を果たしていくと同時に、この有識者会議が解散されるわけではなくて、進行管理もやっていくということでもありますので、その旨、1年に1回、2回見据えながら、また意見を言わせていただければ有り難いかなと思っていますので、よろしくお願いいたします。

【____委員】 _____の____です。

今回、有識者会議に参加させていただきまして、しごと、子育て、そういう世代が一番合っているのかなと思います。

その中で、圏央道ができてから、県北地域はどうなのかという御意見をたくさん聞かれます。県南地域に負けないための水戸市のビジョンとして、今回、こういう会議でいろいろなビジョンができたと思うのです。そこに対して、まちの活性化、そして、子育て、しごとという部分で、どんどん若い世代にこれを伝え、そして、____でも多く議論していきたいと思えます。

【____委員】 _____の____でございます。

今日は総合戦略の意見がまとまり、良かったなと思っています。

意見書にもありますが、せっかく水戸市で税金をかけて子どもたちを教育したにもかかわらず、卒業したら東京に行かれてしまうということでは残念でありまして、多くの若者たちが地元に残って、地元で就職し、仕事をし、家庭を持って、子育てができるような、目指す姿が意見書の5番にあるわけですので、地元に残って、地元のために若い人たちが働いてくれるように望んでいるわけでありまして。ぜひそのようになることを期待して

います。

【 委員】 の です。

この会議を何回かやりまして、いろいろな課題が浮かび上がってきて、それに対して様々な方法でそれをクリアしていこうというような御意見がたくさん出されまして、最終的には、目標というか指標というものが設定されまして、それに向かって進んでいこうということでありました。

前回もいろいろな方から御指摘がありましたが、水戸市だけでやろうとしたのでは絶対にうまくいかない。広域的な行政連携、それから、民間企業、それと市民も含めたチーム水戸で総力戦で取り組んでいけば明るい展望が開けてくるのかなと思っております。

まさにPDCAサイクルをきちんとやって、着実にこの計画を前に進められることを期待いたします。

【 委員(代理・)】 ， の代理で参りました， です。

間もなく観光協会主催で水戸の梅まつりが始まりますが、今回は120回目ということで、こんなに歴史を持った都市というのは多分ないのであらうと思います。過去は変えることができない。ただ、未来はいかようにも染められると思うので、歴史を生かした水戸を若い高橋市長の下、共につくっていききたいと思っています。

【 委員】 から参りました， と申します。

子どもはもう大きくはなっているのですが、私は子育て世代ということで、このような役職ある皆さんの中に入れていただいて意見を言えたこと、また、皆様の考えが聞けたことが今回とても貴重な体験になりました。

私の中では、子育てをしているから一番身近に子どもを感じます。少子化ということもありますが、子どもがこれからこの水戸を背負っていくと思いますので、ひとというものが大事ということで、この戦略の中にもありますが、試運転をさせていく中心となるのは、ひとまた子どもであると思いますので、ぜひ子育て世代がこれからも楽しんで水戸市で生活できるようにお願いしたいと思います。

【 委員】 の でございます。

今回の地方版総合戦略の個別の中身については、各項目それぞれ本当に重要な点ばかりで、今後の人口減少、あるいは少子高齢化の中にあって、非常に多岐にわたる課題に直面して、これに対応していくということが必要だということが明らかなわけですが、そういう中で、PDCAというお話もありましたが、政策の最終的な中身はこのとおりだと思うのですが、実際に実践していく時のやり方といいますか手段といいますか、このところをいかに効果的にやっていくかということが非常に重要だと思っています。

まして、その時に、これまでどおりのやり方であると、厳しい地方の状況を変えていく新しい弾みになるような取組になかなかかなりづらいというところがあると思うので、そこは今までにない思い切ったチャレンジングなやり方を採用していただきたいと思います。

例えば、今までも話にありましたように、大学生等も含めた若い世代のいろいろな意見を吸い上げて、その中から1つでも2つでも、これは1つやってみるかなというようなものがありましたら、それを大胆に取り入れて、失敗するかもしれませんが、そこは1つ前に踏み出してやってみるとか、そういうことに取り組むことが非常に大事なかなと思います。

多分、市の職員の方からしたら、貴重な税金ですから、それを無駄にしてはいけないという思いで、着実に着実にやろうという思いが当然おありだと思うのですが、そこは思い切ったこともやって、その成果を見ながらまた次の取組に生かしていくということが非常に大事なかなと思っておりますので、そういう意味では、市長様のリーダーシップを発揮していただければ、そういうところで有り難いなと思っております。

それから、冒頭の市長の御言葉の中にアンテナを高く張ってというお話がありましたが、様々な地方の中で、同じような課題、悩みを抱えているところは多数あると思います。そういうところの中で、いろいろな成功事例や面白い事例が多々あると思いますので、そういうところをしっかりと取り入れて、あるいは参考にしながらやっていくことが大事なかなと思っております。そういう中で何か私どもなりにお手伝いできることがあればやらせていただきたいと思っております。

【____委員】 _____の____でございます。

私どもは、雇用対策ということがメインになってくるのですが、その中でも正社員の求人の確保と正社員の割合を増やしていくことがまず1点、それと、今後の女性の社会進出、活躍ということで、再就職の支援セミナー等いろいろ取り組んでいるのですが、その2点で水戸市と協力しながらやっていきたいと思っています。

ちなみに、2月2日と3日に、商工課の課長を始め、うちの業務部長と一緒に市内の約20か所の中堅の企業を回りまして、正社員の状況、それから、今年の大卒、高卒を含めて新卒の状況を聞いてまいりましたが、大方充足したということでほっとしております。ただ、一部、建設業の中で1人も応募者がいないというところもありました。あとは、応募者はあったのだけれども、充足していないというところも2社ぐらいございました。

そういうことで、市と連携しながら地道に事業所を回っていきたいと思っています。

それと、今、力を入れているのが、1月から3月まで、保育士の確保集中取組キャンペーンということで、これも水戸市と連携を図りましてやっております。

この間もお話ししましたが、みと文化交流プラザで3日間にわたって行われた、就職準備セミナーが、昨日終わったところでございます。約30名の保育士の方で、少しブランクはあるのだけれども、これから就職をしようかなと考えていらっしゃる方が参加しました。私も昨日参加して、いろいろ聞いてみましたが、働きたいのだけれども、大分ブランクがあるので不安な部分があるということだったのですが、市の保育士さんにいろいろ現状を話していただいたところ、非常にほっとして、これから就職活動をやっていくかということで考えているようでございます。

それと、今後、2月13日、24日に保育士の就職フェアを行います。水戸市内の公立の保育園と民間の保育所ということで、どのくらいの方が応募されてくるのか期待をしております。

水戸市は待機児童が300名ということで、県内でも多いですし、なるべくこの辺を解消して、保育士の人材不足を解消するような方向でいきたいと考えております。

【___委員】私は先ほど発言をしたので、一言だけお話いたします。

需要があるもの、必要なものに重点的に力を注いで、目標数値を達成して、数字合わせではなくて、実のある数字の達成にしてほしいという先ほどの意見どおりです。

【___委員(代理・___)】___の___の代理で参りました___と申します。

私たち___といたしましては、子どもたちの育成、そして、その子どもたちを教育する親世代の育成ということで、リーダーとなるべく人材の育成を毎年進めているところでございます。

私、個人といたしまして、子どもが4人おまして、その4人の子どもたちが将来水戸に残ってくれるかと考えると少し不安な部分がございます。今、私たちが率先して行動をしなければ子どもたちが水戸から離れてしまうという心配を打破するべく、これから頑張っていきたいなと思います。

今回、高橋市長に意見書を提出させていただいたわけですが、___といたしましても、7項目の部分を持ち帰らせていただきまして、活動の細分化をいたしまして、活用をさせていただきたいなと思います。

【___委員】___から来ました___と申します。

昨年の国連の持続可能な開発の議題で、誰も置き去りはしないという言葉が2030年までの目標となりました。

1つ、これからこの戦略を進めていく上で御留意いただきたい点を申し上げます。

この総合戦略を改めて見ていきますと、全ての市民の方々が、能動的に、主体的に動いていかないと、この戦略の目指す姿というのは実現されないのではないかと思うのです。

ただ、一方で、今回の戦略の市民の意見公募などを見ますと、非常に市民の声が少ない。これは、その声の届け方に何か障害があるのか、あるいは、もともと関心が薄いのか、よく分かりません。

ただ、この総合戦略に限らず、他でも見かけられるところがありますので、その辺を、これから、市民の方々に、能動的、主体的に関わっていただく方策、それには、1つには、市内に事業者、市民の方で構成される様々な団体や機関があるかと思うのです。そういう機関・団体を巻き込んでいって、市全体の動きとして、あるいは波動として盛り上げていかないといけないのではないかなと思います。そこをぜひ御留意いただきたいと思います。

【___委員】___の___でございます。

意見書にもあることなのですが、水戸市の中だけで、全て、いろいろな環境を皆さんが満足できるように用意できるかという点、現実問題はなかなか難しい部分があると思います。広域的に、エリア全体でいかに住み良き、例えば、仕事にしても、あるいは教育にしても、医療・福祉とか、あるいは環境面、観光面においても、ある程度の広域で、エリアで勝負していかないとならないのかなと思っておりますし、当然、その中心であったり、あるいはリーダーシップをとるのは水戸市であるべきだと思っておりますので、周囲の市町村との連携というのも重要だと改めて思っている次第です。

【___委員(代理・___)】___の___と申します。本日は___の代理で参りました。

まず、先ほど、___さんがおっしゃいました最も良いことというのは、過去ではなくて未来にあるのだということに私も同感なのです。

今回の会議に、代理という形で参加させていただき、全ての会議には出席をしていない関係で、中間が分かりかねますので、私から意見を申し上げます。

ただ、リードしていきます市の職員の方々にはぜひ頑張ってくださいと思っています。私としてはいつまでも応援してまいりたいと思っています。

【___委員】___の___でございます。

若い人に選ばれるまちにしていこうというわけなのですが、選挙権も 18

歳以上になったりして、若い人の主体性とか若い人の当事者意識はどうかということに気にする方もたくさんいらっしゃると思うのですが、ただ、若い人というのは選ぶ権利があるわけですね。ですから、私たち年長組が、どうしたら若い人に選んでもらえるのだろうか、若い人よりも私たちがやるべきことがたくさんあるのではないかなと思っております。私たちが水戸をもっともっと大切にして、若い人をエスコートして、彼らが伸び伸びと活躍できるような場づくりが大事ではないかなと思っております。

あと、昭和の時代と違って、日本という国にいれば、誰でも、どんな業種でも、どんな地域でも、今日より明日の方が良かったという時代ではもうありませんので、この水戸というまちにいるとどうなるのか、そこを年長組の私たちがちゃんと示して、次の時代もまたその次の時代もこの地域にいると良いことがあるねと思ってもらえるような下ごしらえをきちんとしなければいけないかなと思っております。

【____委員(代理・____)】 _____の____と申します。本日は、____の____が欠席でございまして、代理でやってきました。

私どもも、水戸市とは、____の改良等でいろいろとお世話になりまして、このたびも偕楽園の開業に間に合うような形で__を改良することができました。

また、水戸市とは、他に、__の____や、あるいは観光という面におきましても、今後、引き続き御協力させていただきまして、総合戦略の実施推進に私どもも携わらせていただければと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

【____委員】 _____の____でございます。

若い世代をターゲットにした非常に特徴のある総合戦略になったかと思えます。

そして、本日出されました意見書の4番目と5番目と7番目に共通していると思うのですが、若い世代を巻き込んで、PDCAサイクルによって総合戦略を実施していくということが、他の委員からも話があったように、重要かと思えます。

私は____にいますので、____としましては、地域で活躍できる人材を教育・育成していくことが重要であると考えております。

そして、今、____では、____に主体的に学んでもらうアクティブラーニングということが言われたりするのですが、それが重要になってきています。そこで非常に効果的なのが、地域に出て行って、____で学んだことを実践してみるとか、また、更に地域で学ぶということが非常に重要であると思えます。

そこで、私の立場としましても、特に、この総合戦略を実施するところに微力ながら協力できればと考えております。

【____委員(代理・____)】____の____と申します。本日、____の____、____の代わりに参加させていただきました。

初めてこういった会議に参加させていただいたのですが、今日は市長への答申ということで、立派な総合戦略、7つの項目が答申されたわけがありますが、私ども____という立場から申しますと、____を通じて水戸市にバックアップしていきたいと考えております。そして、6番にありますような、あらゆる分野において市民と行政とが「協働」という字ですね。まさにこれだと思います。個人もそうですが、今日参加している組織、企業なども行政と協働して取り組んでいくことでこういった戦略が図れるのかなと感じております。

こういった立派な戦略を掲げたからには、中長期的で明確な目標設定をして、ビジョンを描いて、それでPDCAサイクルでみんなで見守っていくことが非常に大事かと思っておりますので、我々組織としても、今後とも協力させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

【____委員】____の____でございます。

20数年前から少子高齢化という問題が提案されてきて、ずっと現在まで来ているわけです。その間に有効な手がなかなか打てなくて、いよいよ少子化時代に入ってしまった。あるデータによると、50年後には、3割減ってきてしまうのではないかなという話もございます。私は、多分、そのような航跡を描いて人口減少になっていくのではないかなと思っております。ですので、それを多少遅らせるということはできるのかもしれませんが、そういう社会が出現すると思っております。

過日、____の連合会で、50年後の社会はどんなものになるかということをおある大学の先生に講演をお願いいたしました。それをお聞きすると、考え方も、社会の仕組みも全く違ってきてしまうのです。

意見書を始めとしまして、いろいろと対策を練らなくてはならないのは当然のことであるのですが、50年後どういう世界が出現するかを念頭に入れて我々は行動しなくてはならないのかなと思っています。

実際、50年前と現在ではかなり違う社会が出現しています。ですので、例えば、50年未来検討会みたいな形で、時々そういうところで将来の姿を検討しながら、方向などを確認しながらやっていく必要があるのかなと感じるのです。

ですので、人口が減ったからマイナスなのだという発想ではなくて、それを逆手に使って、例えば、若者尊重とか、高齢者もちろん増えてきますし、高齢者と共生していくとか、それから、人口が少ないだけ念入りな

施策を実行できるということも言えますので、目標を50年後に定めて、人口がこうなるのだという現実に対応できるような形が望まれるのかなと思っております。

そして、水戸が他の県よりも本当に豊かで、人間尊重のまちであるというようなことになっていけば大変素晴らしいなと思っております。

【____委員】 ____から参加しております、 ____でございます。

まずもって、座長を始め今日、御参会の皆様の貴重な御意見を賜りまして、大変有り難く思っております。

私からは3つ、お話ししたいのですが、まず1つは、市長の話にもありましたが、計画です。今様々な計画を水戸市で立てております。例えば、第6次総合計画という柱があって、その中にこの総合戦略もあるでしょうし、観光基本計画もあるし、中心市街地活性化基本計画もあるというようなことで、この計画はあくまでも目的のための計画であって、ですから、それを遂行・実践するディレクター役をしっかりと決めてもらわないと、これがばらばらに進んでいては目標到達は難しいのかなと私は感じております。

それと、もう1つ、例えば、国の施策が、補助等についても、猫の目のように変わるというようなことで、去年までは補助金が頂けたのに、今年になったらそれはなかったというようなことで、私は国への補助制度のアンテナ、先ほど市長もお話ししていましたアンテナ役というものを、これは様々なジャンルに絶えず目を通してアンテナ役が必要と同時に、国へ対するパイプ役の方が重要なのかなと。そういうことをチェック、またキャッチしても、その省庁とのパイプ役をしっかりとつくっておかないと、今後、こういう計画を達成するには、国、また県との連携が必要になってくるかと思っております。

それと、3つ目ですが、若い世代の方を中心に、今後、この戦略を遂行していくわけですが、少子高齢化の中で、この間の数値にも出ていたように、あと10年後には、水戸市の人口のうち、約3分の1が65歳以上になってしまうというようなことで、遂行するに当たって、その3分の1のいわゆる高齢者と言われる方たちの断絶があってはいけないし、そこに連携とか、また高齢者の方の役割が重要になってくるのかなと思えます。

歳を重ねていくと、だんだん考えがこういうような形になってくる、孫子の代にしっかりしたまちを残したいのだというような形が、高齢者が歳を重ねると目標になってくると思えます。

そういう中で、今、これらの施策の受け皿である土壌、それは市民が主役のまちづくりなのですが、市民自体がそういうものに対して無関心とか、

また参加意欲がないとか、そういう現実がややもするとあるという中で、地域を支えるコミュニティ力を、地域力、市民力を、受け皿の土壌にしっかりしていただく施策もこれと同時に重要なのかなと思います。いくらい種を蒔いても、受け皿の土壌が悪化しては根づかないし、花も咲いてこないのかなと思っておりますので、同時進行として、施策の目標達成のためには、受け皿である市民一人一人に対する市民協働が大切なので、そういう部分についても、計画を達成するためのディレクター役の方には、そういうところにもお目配りをいただければというようなことを意見として申し上げておきます。

【座長】皆様、どうもありがとうございました。

代理出席の方もいらして、突然の振りで申し訳ございませんでした。

最後に、私から一言申し上げたいと思います。まち・ひと・しごと創生ということで自由に考えてねということなのですが、他方で、国の枠組みの縛りみたいなのところもありますし、あるいは、近隣との関係で、人の取り合いとなっってはどうしようもないということもあって、そういう中での議論でなかなか難しいところが多かったかなと思います。

そういう意味で、英知を結集するといっても、私も含めて心もとないところもございますが、とにかく戦略案ができたということについては、皆様の御協力を頂き、大変感謝を申し上げたいと思います。

大枠や指標は決まっているのですが、今、皆様もおっしゃったように、手法の話はまだこれからということもありますし、特に、今回、若者や、更にもその次の若者となっていく世代も視野に入れて何をやっていくかという問題提起を私どもがしてきたということもございしますので、そこを、誰と誰がどう結びついて、誰と誰をどう結びつけて、このプランを実施していくのかということ、私どももそこは責任を持って取り組んでいく必要があるだろうと思います。

それから、私も____の代表ということで、若い世代と付き合っていたり、____機関としての責任があると思うのですが、ピンポイントで、水戸に住んで、水戸で働く人をつくるというのは難しいところがございますが、____委員もおっしゃいましたが、地域の歴史的な推移でありますとか、あるいは現状をよく見て、とかく若い人というのは近視眼的に思いつきでというところがありますので、何でこうなっているのかということも良く考えてもらうというような教育もやって、何をやれば自分たちにとって良いのかとか、楽しいのかとか、そういうことを考える____を育てていきたいと考えているところでございます。

ということで、最後は私の方からということですが、ちょうどいい時間になりましたので、これで閉じたいと思います。今後のこの会議

の開催につきましては、進行管理等が主な任務になっていくということではございますが、事務局と相談もいたしまして、改めてお知らせさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、以上をもちまして、本日の議事は終了させていただきたいと思っております。

どうもありがとうございました。

【執行機関】 本日は、意見書を提出いただきましてまことにありがとうございました。

以上をもちまして、水戸市まち・ひと・しごと創生有識者会議を終了させていただきます。

ありがとうございました。